

# 国保税 なんと、2年間で3割もアップ... 2年連続で大幅値上げ!!

新年度予算案などを審議する定例市議会が23日に開会しました。一般会計予算234億5000万円と7つの特別会計、2つの企業会計予算案が提案されましたが、ひととき目を引き、驚かされたのが、国民健康保険の引き上げ。昨年4月に約2割もアップしたばかりなのに、またまた値上げ。2年連続で約3割も引き上げられます。これは黙っていられません。国保税引き下げを求める請願も出されました。

こんなに高くなつては払えませんよ

	20年度		現行(21年度)		22年度値上げ案	
	医療保険分	後期支援分	医療保険分	後期支援分	医療保険分	後期支援分
所得割	基準所得額 x 5.6%	基準所得額 x 1.4%	基準所得額 x 6.7%	基準所得額 x 1.4%	基準所得額 x 7.3%	基準所得額 x 1.9%
一人あたり (均等割)	23,700 円	6,000 円	27,600 円	6,000 円	29,300 円	7,000 円
一世帯あたり (平等割)	19,300 円	4,700 円	23,900 円	4,700 円	26,200 円	5,400 円

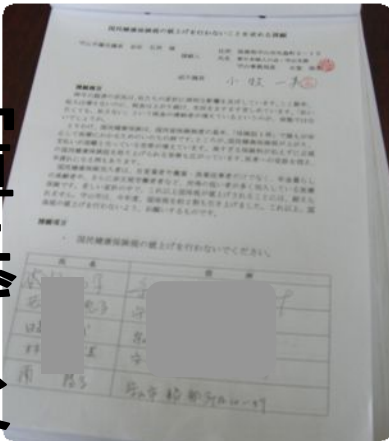
例 給与収入  
282万円の2人世帯(介護保険あり) 238,400円 → 267,300円 → 292,200円

## 市民負担軽減のため一般会計からの繰り入れを

提案された案をもとに試算すると、年収約300万円の2人世帯では、2年間で53,800円の値上げ、約3割も値上げされたことになり、国民健康保険加入世帯のうち年収300万円以下が約8割も。こんな高額な保険税では、払いたくても払えない方がますます増えることになり、滞納すれば保険証が取り上げられる厳しい制裁措置。いのちと健康が脅かされる事態です。近隣市では、市民負担を軽減するのために、国保赤字分の補填を一般会計から繰り入れていますが、守山市では行っておりません。2年連続で市民に負担を押しつけている姿勢が、大きく問われています。

市の一般財源から国民健康保険特別会計に「繰り入れ」することについて  
守山市はこれまで、国保加入者の負担を軽減するために一般会計から国保特別会計に繰り入れすることについて、「原則認められていない」としていましたが、小牧議員らが直接厚生労働省に見解を求めたところ、「国保は自治事務。繰り入れするかどうかは自治体の裁量の問題。政府が認めるか、認めないかというものではない」と明確に述べられました。

「値上げしないで...」  
「請願署名提出」



「国保税はこれ以上値上げしないで...」切実な願いの署名を添えて、新日本婦人の会守山支部から「国保税引き下げを求める」請願が出されました。「年金生活で、これ以上の国保税の値上げは耐えられない」、「仕事が少ない、収入が減ったのに、税金は値上がり。やっていけない」など、多くの声が寄せられています。たった3週間の署名期間に、737筆もの署名が寄せられたもので、こうした市民の声に、議会がどう対応するのか、注目されています。15日・18日の文教福祉常任委員会で審議されます。



## 介護療養病床は廃止 土曜日診療は休止...

守山市民病院が今、大きな転機を迎えています。

昨年策定した「守山市民病院改革プラン」に基づき、4月から介護療養病床(32床)を全廃、土曜診療の休止も検討しています。

そもそも、「守山市民病院改革プラン」は、国の指導により、策定を求められたもの。旧政権のもとで、自治体病院に対し、「経営の効率化」「再編ネットワーク化」「経営形態の見直し」の3つの視点で「病院改革」を求め、財政の効率性を追求するもので、「医療費削減のための病院改革」といえるものです。

「経営先にありき」で強行される病院改革。守山市民のいのちと健康を、どう守るのか。市民病院のあり方はもちろん、高齢化を迎える介護現場の整備はどうして行くのかなど、守山市全体の医療・介護・福祉のあり方そのものが、問われているといえます。

小牧議員が、8日の代表質問で、市の考え方について問います。

日本共産党

守山民報

守山市議会議員

こまき一美

TEL・FAX 582-3785  
http://komaki.jcp-web.net/

党守山市くらし対策責任者

まつば栄太郎

TEL 584-3077  
FAX 584-3466